

---

# カシオペアの空

柚月 祥

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

カシオペアの空

### 【Zマーク】

Z6932F

### 【作者名】

柚月 祥

### 【あらすじ】

家族のためと思いながら、罪を犯してしまった主人公、瑠衣は、家族との葛藤や、励ましや、温かさを感じることで、はたして日常生活を送れるようになるのか・・・悔恨と涙と信頼を織り交ぜて、私小説風に綴っていきます。

11月8日（前書き）

犯罪をテーマにしていますが、けつしてミステリーとか、犯罪小説ではありません。

その瞬間、ただびっくりしたと同時に、なぜ、ここでのドアが開いたのか?といふことと、入ってきたのは、ここで管理してる人なんだ・・・と、  
ぼんやりと思つただけだつた。

私は、ただ、目の前のモニターの下にある、幅20センチほどの隙間を見つめていただけ・・・

そこから、出でくるはずであつた融資用のカードを待つていただけ・・・

そのドアが突然開いて入つてきたのは、30代前半とおぼしきジヤンパーを羽織つた男性を先頭とした、数人の一団だつた。

なんでこんなにたくさんの人が入つてくるの?

この人たちは誰?

そして、目の前に置いたままの、私の免許証を手に取り・・・正確に言えど、私のものではないけれど・・・

「これは、あなたのですか?」と聞いてきた。

私は、「・・・はい」と力なく答えることしかできなかつた。

その人たちが、「警察」と名乗つたのかさえ今でも覚えていないほど、私は動搖していた。

ずっと、ローン会社の人にばれてしまつたとしか認識できていなかつた自分は、滑稽にも、その免許証をバッグにしまわなければ!

と思つた。

とつさに出した私の手を、その人はさそり、口へ當つたのだった。

「うへん、これは犯罪ですよ。警察に来ていただきないと……」

やつぱり干支を確認しておぐべきだった。それで、偽の免許証だとこゝ「」とがばれたんだ……

「すみません。主人には、このこと知らせないで欲しいんですけど……」私は必死だった。なにがなんでも、夫には、知られてはならない！

案の定……「無理ですよ……だつて、泊まつてもらわなくちやならないもの、警察に」

泊まる？警察に？私が？なぜ？……

私の混乱は、ピークに達した。夫に知られてしまつ……とこゝ「」とは職場にも！？

回避しなければ、それだけは……無理難題とわかりつつも、恐る恐るたずねてみた。

「職場にも知らせるんでしょうか……？」

その人は、少しだけ考えるふりをして「たぶん……」と答えた。これは迷れようのないことなのだと実感し、ますます暗澹たる気持ちになつた。

何のために、今まで、夫には秘密にして、苦しい思いをして、やりくりしてきたというのだ。

これで、もう、今までの私のしてきたことすべてが水泡に帰して

しまつではないか。

自分のやつたことを冷静に判断できなくなつていた私は、わらにもすがる思いで、何度も何度も「夫にだけは・・・」と訴えたのだった。

今から思えば、滑稽だし、みじめで、なりふりかまわない私の姿は、そこにいた数人の人たちの失笑を買つていたことだろう。

そして、その人たちとは、何回も私や、目の前のモニターや狭い室内を、いろんな角度から写真を撮つたり、携帯で連絡を取つたり、あわただしく出入りをしていた。

その様子をぼんやりと眺めながら、心と体がばらばらになつたような感覚になり、胸の動悸も激しく感じていた。

その人は、また聞いてきた。

「もう一度聞くけど、これは、あなたの免許証？」

私はもう、何を言つても無駄だということを実感し、力尽きていた。

本物の免許証の上にコピーした紙を貼つただけの、ひどく子供じみた粗末な「偽造免許証」の端をめぐりながら、

「これは、偽造したものですよね？わかります？これは、犯罪なんですよ！？」

犯罪・・・そなんだ、私は、罪を犯したんだ・・・

このとき、初めて、自分の今の状況を把握したような気がする。

「じゃ、行きましょうか・・・」

その無人口一の小さな建物から、初めてパトカーへと乗せられた私は、すべてが夢のように、現実感を伴つていなかつた。いや、夢だといいのに・・・と思っていただけなのかもしれない。

11月8日（後書き）

登場する人物、組織等は、すべてフィクションで、実在いたしません。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6932f/>

---

カシオペアの空

2010年10月10日04時27分発行